

津山市議会出前懇談会実施報告書

開催日時	令和4年10月4日(火) 14時00分 ~ 15時30分			
開催場所	全員協議会室			
出席議員	班長 : 西野修平	記録係 : 中島完一		
	副班長・司会 : 美見みち子	記録係・報告者 : 広谷桂子		
参加市民数	15人(男12人、女3人)			
懇談会テーマ	民生委員を取り巻く現状について			
懇談会内容	1. 開会	<ul style="list-style-type: none"> ・西野班長挨拶 ・高山民生児童委員連合協議会会長挨拶 ・出席者自己紹介 		
	2. 協議会について	津山市民生児童委員連合協議会の概要(別紙)についての説明		
	3. 意見交換(主なもの)	質問・意見・要望等	議員の回答・意見等	
		・市北部は冬期はかなり積雪がある。高齢者が多い地域でもあり、雪が積もると危険。民生委員が地域で使用できる融雪剤を配布いただけないか。	・希望する町内会には町内会長を通じて配分があると思うが、民生委員の方が使えるように町内会長に伝えてはどうか。担当部署にも伝える。	
		・民生委員の補助員のような制度があると助かる。以前、福祉委員の制度があったと思う。可能なら検討をお願いしたい。また「地域福祉計画」から記載が数年前に突如消えた。議会からもその理由を確認して欲しい。	・これまでの経過を含め、常任委員会などの場で質問するなど、市当局の考えを確認したい。	
		・引きこもりや虐待、子どもの貧困・DVなど内容によって相談窓口が複数にわかれ、担当部署も分かりにくい。ため、「分かりやすい窓口、ワンストップ窓口」を検討してほしい。	・窓口はできるだけ統合されていたほうがいいと感じており、今後、市当局を話をしていく。	
		・高松市は市独自で補助金を上乗せしている。活動に見合った補助金を考えて欲しい。	・常任委員会の場などで市当局に補助金についても質疑を行いたい。	
		・民生委員の抱える内容も多様化・複雑化しているが、なり手が不足しており、活動しやすい環境実現に協力いただきたい。	・ご意見を踏まえ、議会としても協力していきたい。	
		・地域包括支援センターは民生委員の活動に不可欠だが、業務は増加しているが職員が少なすぎるため増員の予算確保を希望する。	・関係者からも実情を聞いている。可能な限り改善できるよう取り組む。	
		・民生児童委員の見守り活動・あいさつ運動の成果が出つつある。今後、引きこもり・不登校支援などしていきたいと考えている。このような活動の周知にも協力いただきたい。	・貴重なご意見として承る。	
・議員や町内会長など女性の割合が非常に少ない。女性や子育て世代の方がもっと社会参画できる環境づくりに協力をお願いしたい。	・貴重なご意見として承る。			
3. 閉会	中島委員挨拶			

その他
特記事項

活発な意見交換を通じて、民生児童委員の皆様の日頃の活動における御苦勞や課題が改めて再認識でき、貴重な機会となった。いただいた様々な意見等を市当局とも共有し、協力していきたい。